

【考え・基礎知識】

道案内に使用する表現や建物の言い方を知る。

【つながり】

道案内に使用する表現や建物の言い方に慣れ親しみ、友だちを相手に道案内をする。

【応用・ひろがり】

実際に海外から来られた人（ALT等）を相手に道案内をする。

- ◇ 学年 第6学年
- ◇ 単元名 Lesson 4
- ◇ 単元目標 建物等の言い方の違いに気付くとともに、道案内に必要な表現に慣れ親しんで、積極的に自分たちの町の道案内をしようとする。

単元の導入で、困っているALTの役に立ちたいという思いを児童から引き出すとともに、自分たちの町の道案内をするためには英語でどう言えばよいのかという、単元を通した課題意識をもたせる。

時	主な学習活動
1	・ALTが町の様々な場所を知らず、困っている状況を知り、ALTに英語で自分たちの町の道案内をするには、どうすればよいかという課題意識をもつ。 ・町中にある様々な建物などの言い表し方を知り、日本語との違いに気付くとともに道案内の言い方を知る。 → 本時
2	・町の中にある建物などの言い方や目的地への行き方を尋ねたり言ったりする。
3	・友達をALTだと思って、目的地への行き方を尋ねたり道案内したりする。
4	・新しくきたALTに自分たちの町の道案内をする。

- ◇ 本時の目標 町中にある様々な建物などの言い方を知り、日本語との違いに気付くとともに、道案内の言い方を知る。
- ◇ 学習の流れ（1時間目/全4時間）

学習活動	指導上の留意事項（◇） ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 （評価方法）
1 課題意識をもつ。 ・来日したばかりのALTが、家族を連れて町の案内をしたいが、町に何があって、学校からどう行けばよいか分からず、困っていることを知る。 ・ALTの家族に紹介したい場所を考える。 ・英語を使って道案内をすることについて課題意識をもつ。	◇来日したばかりのALTは、「町の中に何があるのか」「行きたいところへどう行ったらよいか」が分からず悩んでいることを伝える。 ◇生活の様々な場面を想像させ、どのような場所を利用しているかを思い出させる。 ◇「英語で道案内をするには、どう言ったらよいか？」と投げかけ、課題意識をもたせる。	
課題「町の様々な場所の言い方、行き方を伝えるには、英語でどのように表現すればいいのだろう。」		
2 本時のめあてを確認する。 めあて「建物の言い方や道案内の言い方を知ろう。」	◇課題を解決するためにはどうすればよいか問いかけ、建物の言い方や道案内の言い方を知る必要があることに気付かせて、本時のめあてを確認する。	課題を解決するための見通しをもたせる問いかけを行い、必然性のあるめあての設定につなげる。
3 建物の言い方を知ろう。 【What's this?ゲーム】 ・建物の絵カードの一部から、それが何か答える。英語での建物の言い方を知る。 【キーワードゲーム】 ・ペアになり、向かい合って座る。 ・2人の間に消しゴムなどを置く。キーワードになる単語などを確認する。 ・先生が言う単語などを全員で繰り返し、先生がキーワードを言った瞬間に消しゴムを取る。	◇ゲームを通じて、日本語と英語とでは、flower shop や convenience store のように、名称は同じでも発音の違うものや、bank や hospital のようにまったく違う言い方をするものがあることに気付かせる。 ◇繰り返し建物の名前を英語で言わせることで慣れ親しませる。 ◆キーワード以外の単語を繰り返し声に出させる。 ◆はっきりと大きな声で発音させる。	ゲームを通じて、建物の言い方を繰り返し聞かせることで、慣れ親しませる。
4 道案内の言い方を知ろう。 【町の地図を作ろう】 ・黒板に貼られた地図を見ながら目的地に道案内する言い方を聞く。 ・先生と一緒に道案内の言い方を言う。 【サイモンセズゲーム】 ・“Simon says ～.”という言葉とともにする動作を全員が素早く真似する。 ・Go straight. Turn left. Turn right. Stop 等の表現に慣れ親しむ。	◇黒板に建物を除いた道路だけの地図を掲示する。 ◇目的地に案内する言い方を紹介しながら、到着した場所に建物カードを置き、町の地図を作っていく。 ◇Go straight. Turn left. Turn right. Stop. の時の動き方を確認する。 ◇道案内に使う表現について、実際に体を動かしながら繰り返し言わせる。	建物の言い方、次に道案内の言い方と学びを深め、「つながり」を意識した展開の工夫をする。
5 本時のまとめをする。 児童のまとめ例 ・日本語と英語では、建物の言い方が似ているものや、違うものがあることが分かった。 ・道案内をするときは、「ゴー ストレイト」、「ターン ライト」、「ターン レフト」があることが分かった。		道案内に必要な表現に慣れ親しませ、自分たちの町の案内ができそうだという見通しをもたせる。
6 本時を振り返り、次時につなげる。 ・本時の活動を振り返り、カードに記入する。 ・自分たちの町にある建物や場所をALTに説明してみようという思いをもつ。	◇覚えた表現だけでなく、日本語と英語の違いに気付いた点についても記述するように促す。 ◇児童の英語を使おうとする態度や児童の気付きなど、よかったところを評価する。	英語での建物などの表し方の特徴や、日本語との違いに気付いている。【気】＜行動観察・振り返りカード分析＞